

CAP (まちなか再生総合プロジェクト) 主要事業紹介

マルシェ (地場産品取扱店)

東胆振地域でとれた鮮度の高い農産物や特産品を中心に取り扱う店舗を駅周辺で展開します。消費者にとっては生産者の顔がわかり安心感をもって買い物を楽しめます。



まちなか交流館 (仮称)

地域貢献の一環として苦小牧信用金庫が本店跡地に建設。足湯やミニマーケット、ギャラリースペースなどが備わった憩いの場としての施設を予定しています。



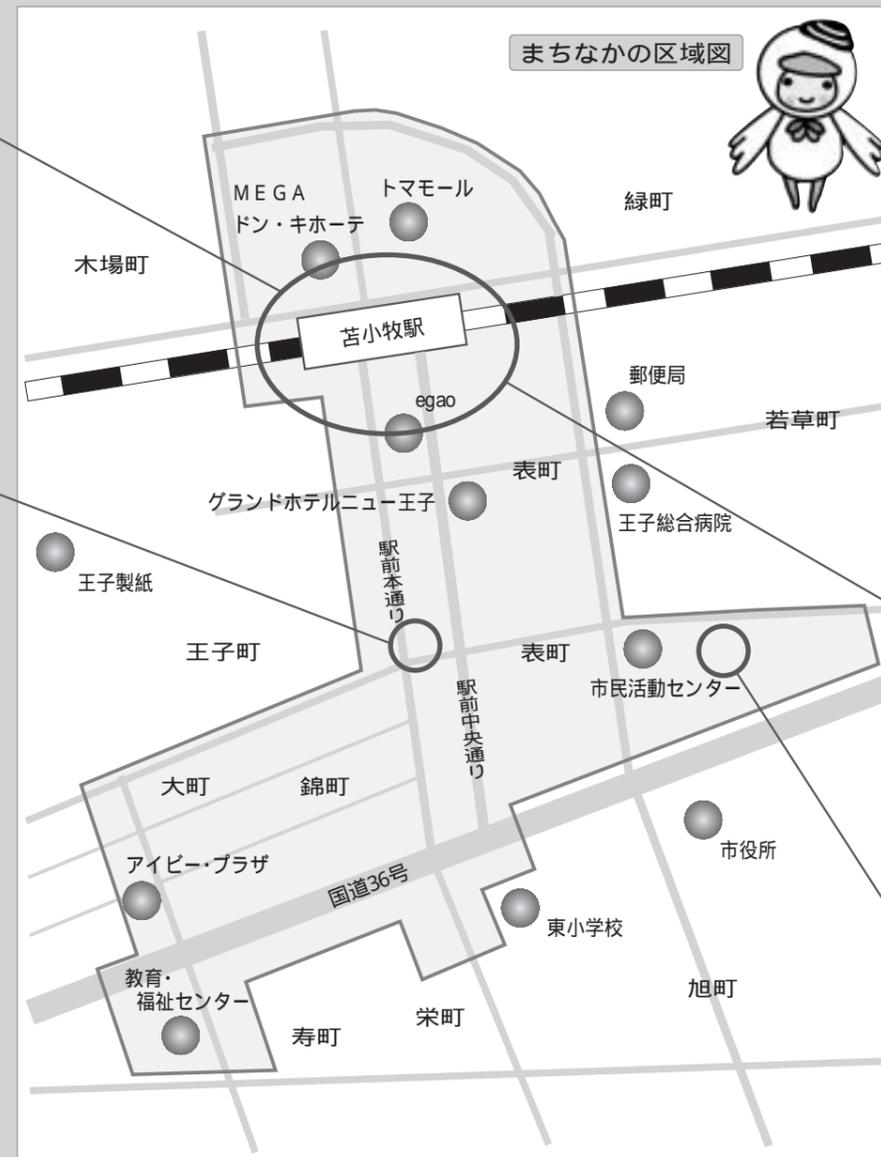
現在建設が進められています

東胆振地域ブランド

東胆振の魅力を苦小牧が広告塔となって発信し、交流人口の拡大を目指します。

- 1 東胆振の観光資源に関する再発掘調査やニーズ調査などを行います。
- 2 ①のデータを基に東胆振観光ルートを設定し、ツアーを実施します。
- 3 東胆振のイベントを連携させたスタンプラリーを展開します。
- 4 東胆振の新たなご当地グルメを展開します。
- 5 大手旅行雑誌会社と連携し東胆振版フリーペーパーを作成します。

市では、CAP (まちなか再生総合プロジェクト) の各種事業にもとづいて、まちなかの都市機能を活かしたコンパクトなまちづくりを推進し、まちなかを暮らしやすい生活空間へと充実させ、定住人口や交流人口の増加を目指していきます。



ライブラリーカフェ (仮称)

人が集うコミュニティの拠点としての役割を担う、図書・カフェ・観光の機能が融合した、新しい複合施設を駅周辺に設置します。

ライブラリーカフェの予定している主な機能

図書	気軽に利用をコンセプトに、雑誌・新聞などを主体に取り扱う
カフェ	軽食、スイーツ、ドリンクなどを提供する (地産地消メニューを基本)
パーソナルスペース	静寂な個室空間で、自習室としても利用を可能にする
観光情報案内	コンシェルジュ (総合案内人) を配置し、地域情報を発信する (東胆振地域ブランド戦略事業とも連携)



イメージ



イメージ

市営住宅まちなか移転事業

日新団地建替事業において、その一部 (約120戸) を若草町に移転させ、まちなかの居住促進を図ります。

まちなかインフォメーション事業



まちなか情報を中心とした地域情報をラジオ番組で放送します。

期間 3月までの毎週水曜日12時30分から12時55分まで放送
放送局 AIR-G FM 北海道 80 AMHz

Port City's Supplement

TOMA☆JUICE

まちなかグルメ推進事業

まちなか限定で楽しめるご当地グルメを展開していきます。まずは、大学生の発想から生まれたホッキライスパーガーです!



まちなか循環バス

駅前を基点にまちなかの主要な施設を結ぶ循環バスを運行し、まちなかでの移動の利便性向上を図ります。

- 王子総合病院 ● 市立病院
- 中央図書館 ● 総合体育館
- 教育・福祉センター
- 市役所 ● ぶらっとみさと市場
- アイビー・プラザなど

快速バス

公共施設や商業施設など、東西各地域の主要拠点とまちなかを結ぶ快速バスを運行し、まちなかへのアクセス向上を図ります。

